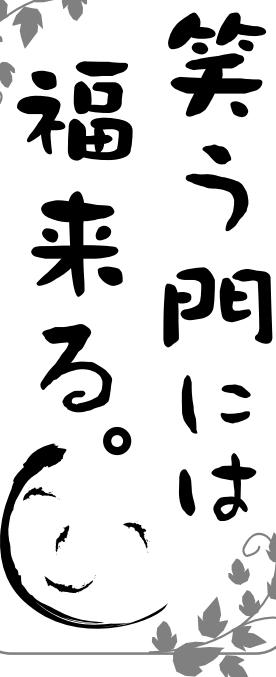
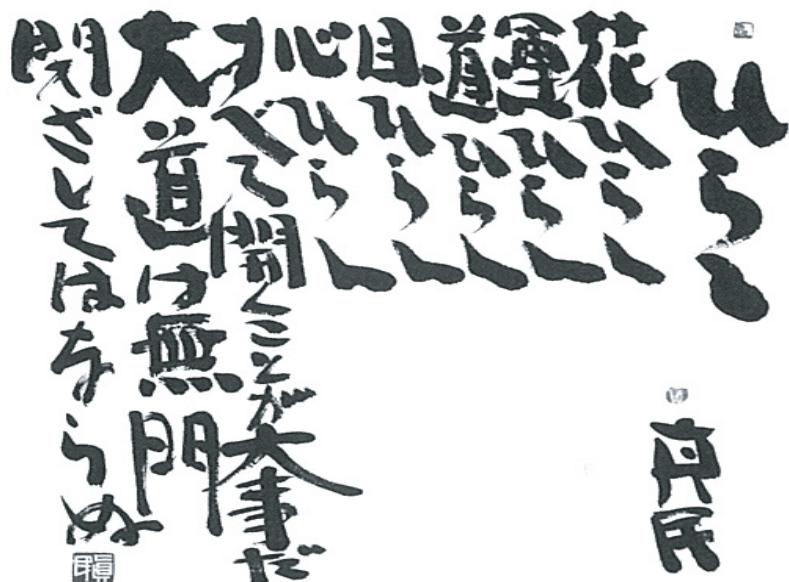


坂村真民記念館（砥部町）



松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志

春分と彼岸

明朗・愛和・喜動



今日は春分の日です。「春分」とは二十四節気の一つで、昼と夜の長さがほぼ等しくなるといわれている日です。春分にあたり、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」ことを趣旨として、この日は国民の祝日に定められています。

春分の日の前後七日間は「彼岸」とい、故人や先祖を偲び、供養する期間だとされています。

「彼岸」とはもともと仏教の用語です。「彼方の岸」と書かれるように、生死を分つ海を渡つて到達する終局の世界のことを意味します。それとは逆に、悩みや煩惱の多いこの現実の世界を「此岸」といいます。

彼岸に、お墓参りに出かける人も多いことでしょう。お墓の前で祖先や親しかった人に思いを馳せていると、不思議と心穏やかになります。季節の変化を肌で様々な喧騒から、一時、離れるからでしょうか。

古来の慣習に合わせて、この時期、お墓参りに出かけてみましよう。季節の変化を感じられるかもしません。

「職場の教養」より

秋田 緑の言の葉カード



★「言の葉ネットショップ」から購入できます。
<http://greenti.shop-pro.jp>

「持つといき」歩き遍路の若者に

姫が手渡す温州みかん

汚染水外洋投棄になるらしく

ふと見返せば伊方は内海



宇和ちゃんの啖呵!!短歌

道しるべ

○欠点を補い合えば、そこに和が生まれる

お互いに求めすぎてはいないか。

足りないところは、自分が補おう。それが、人と人のつながりを強くする。